

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870201195
法人名	社会福祉法人 今治市社会福祉協議会
事業所名	今治市社協 グループホームゆいの里
所在地	今治市大三島町野々江2435番地14
自己評価作成日	平成23年6月15日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成23年6月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

一人ひとりの自由な意思を尊重し持っている力を発揮しながら笑顔の中で日々過せるように支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

●職員は、ほとんど地元の方で、職員の知り合いを通じ、日舞・マンドリンコンサート・フラダンス等のボランティアの輪も広がっている。近所の方が野菜を持って来てくださり、利用者と一緒にお茶を飲んで帰ることもある。島のラントウレーベン（滞在型農園）に住んでおられる歯科衛生士の方が口腔ケアの研修を行ってくださり、義歯を使うようになった利用者の方もいる。
●いぎす豆腐等の郷土料理もよく作っておられたり、又、利用者が目でも楽しめるように、配膳やいろ採りにも気を配っておられる。調査訪問時の昼食のそうめん汁は、具のくずしが飾り切りされていて、利用者は「きれいに切ってるね」と、話しながら食事をされていた。利用者は、野菜を切ったりお膳を拭いたりして調理に参加されている。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目：11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

- 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 社会福祉法人 今治市社会福祉協議会

(ユニット名) 今治市社協グループホームゆいの里

記入者(管理者)

氏 名 菅 千枝

評価完了日 平成 23 年 6 月 15 日

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	○ 理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有 して実践につなげている	(自己評価)	
			「家のぬくもり、人のぬくもり、地域のぬくもりにふれあいなが ら、その人らしく暮らしていただけるよう、お手伝いさせてい ただきます」の理念のもと、一人ひとりの思いを大切にしながら 安心した暮らしができるよう実践につなげている。	
2	2	○ 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に 交流している	(外部評価)	
			理念を玄関に掲示して、月に一回の職員ミーティング時に理 念に沿った支援ができているかを、すべての職員で確認さ れている。地域からの要望もあり、設立した事業所でもあり、 運営推進会議へも積極的に協力いただけるようだ。地域の 有線放送を使用して、実際に避難訓練の実施についても一 斉放送でお知らせした。	
3		○ 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向 けて活かしている	(自己評価)	
			年間を通して、地域の行事に参加している。また、夏祭りや マンドリンコンサート等外部の方の協力を得ながら地域の 方々と一緒に楽しんだりボランティアの受け入れや地元中学 生の職場体験等継続的に行っている。	
			(外部評価)	
			職員は、ほとんど地元の方で、職員の知り合いを通じ、日舞・ マンドリンコンサート・フラダンス等のボランティアの輪も拡 がっている。近所の方が野菜を持って来てくださり、利用者 と一緒にお茶を飲んで帰ることもある。島のラントウレーベン (滞在型農園)に住んでおられる歯科衛生士の方が口腔ケ アの研修を行ってくださり、義歯を使うようになった利用者 の方もいる。	
			(自己評価)	
			認知症の勉強会や介護教室、中学生職場体験、大学生研 修等受け入れ積極的に行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○ 運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)	
			行事報告・利用者の状況を説明し、困難事例提示し、色々意見等うかがいながら、サービス向上へと活かしている。車椅子誘導介助練習も行い、地域の協力を得てから行った避難訓練の時には、実際に誘導実践した。	
5	4	○ 市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(外部評価)	
			敷地内の系列グループホームや小規模多機能型居宅介護事業所と合同で2ヵ月に1回、会議を開催されている。これまでは、法人の福祉センターで会議を開催されていたが、各事業所の様子や利用者のことも理解していただけるよう、各事業所順番で会議開催場所となり、会場となった事業所のご家族と利用者が出席されている。避難訓練の前には事業所内の見学や避難経路の確認をされたり、車椅子を使用した避難誘導の方法を体験され、感想等を話し合われた。	
6	5	○ 身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)	
			全ての職員が利用者の思いを受け入れながら拘束しないケアに取り組み、安全面に配慮しながら、自由な暮らしを支えるようにしている。	
			(外部評価)	
			法人内福祉センターで月に一回研修会が行われており、職員は参加して「拘束はしないケア」についても勉強をされている。気ままに出かける利用者もおられたが、職員は「見守る」ことを心がけて支援された。調査訪問時、玄関を網戸にされて、風通しもよく、利用者は、外に干している洗濯物を取り入れたり、季節の良い時には外で過ごすことも多い。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○ 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 利用者と一緒に暮らしている中で虐待と思われるような介護がないように、職員が一緒になり相手の身になって介護を続けている。	
8		○ 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 制度について理解できており、必要と思われる場合は本部とも連携し活用できる体制が整っている。	
9		○ 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時の説明や、重度化や看取りについて家族本人の意向を伺い、事業所の考えや取り組みについて説明し理解が得られる様に努めている。	
10	6	○ 運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議を2ヶ月に1回行ない、利用者や家族の方等参加していただき、意見や希望を交換する機会を設けている。また、家族会においてのご意見や利用者、家族様アンケートを行いそれらを運営に反映させている。 (外部評価) ご家族の来訪時、職員は笑顔で迎えられ、利用者との仲介をされている。2ヵ月ごとに「ゆいの里だより」を発行して、行事の様子や職員の紹介等を写真入りで報告されている。又、利用者個々に、日常の生活の様子を書いた手紙を同封しておられる。法人でも、利用者やご家族にサービスについてアンケートを取り、ご家族から出された要望や意見は、職員で話し合い、サービスの改善につなげておられる。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○ 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見 や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			支部長による個人面談でそれぞれの思いや意見、要望を 伺ったり職員研修時にも意見や提案を聞く機会を設け反映 させている。	
			(外部評価)	
			毎月、すべての職員でミーティングを行っておられる。ミー ティングでは、事業所全体についてこの1か月の反省や次月 の活動の計画を立てておられ、必ず全員が発言すること になっている。利用者の座席についてや昼食前に行う「あすな ろ体操」も職員の意見やアイデアが反映されている。	
12		○ 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、 勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やり がいなど、各自が向上心を持って働けるよう職 場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			代表者や支部長は職員と交流がもて業務や悩みを把握でき ている。資格習得に向けた支援や各自が向上心を持って働 けるように外部、内部研修に全職員が計画的に参加できるよ うに努めている。	
13		○ 職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの 実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機 会の確保や、働きながらトレーニングしていくこ とを進めている	(自己評価)	
			全職員の研修計画をたて、参加しミーティング時には、研修 報告を行い、共有できている。又、内部研修を行い、お互い のスキルアップへと努めている。	
14		○ 同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する 機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互 訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上さ せていく取組みをしている	(自己評価)	
			総会、研修、相互研修等活動を通して、内部研修に活かし サービスの質の向上を目指している。	
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○ 初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っ ていること、不安なこと、要望等に耳を傾けな がら、本人の安心を確保するための関係づくりに 努めている	(自己評価)	
			事前面談で生活状態の把握するように努め、本人の思いや 不安なことを受け止め、本人の安心を確保できるように、信 頼関係を作れるよう心がけている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○ 初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 初めて相談に来られた時、今までの生活状態やサービスの利用状況、家族の希望や思いを聞き、事業所としてどこまで支援できるか等の話し合いの場を持っている。	
17		○ 初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人、家族の思いを伺い、状況に応じたサービスの利用や情報を迅速に提供できるように努めている。	
18		○ 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 食事を作ったり切り干し大根を作ったり、又布巾、洗濯物たたみ等、利用者さんに応じた作業をして頂くことで共に、生活し支えあう関係を築いている。	
19		○ 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 誕生会・クリスマス会・夏祭り等家族さんにご案内し、利用者・家族職員が一緒になり共に楽しみ交流を深め合ったり、希望時には電話連絡し合い家族さんとの絆を大切に安心出来るように支援している。	
20	8	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) お大師参り、寺の花祭り、地域のお祭り見物や地域の敬老会、買い物に出かけ知人との交流の機会が多くなるようにしている。また家族さんと一緒に通い慣れた理美容室へも出かけている。 (外部評価) 法人内のデイサービスや小規模多機能型居宅介護事業所から入居に至ったような利用者もおられ、入居後も、以前利用していた事業所に遊びに行き、活動されたり、時には知り合いの利用者の方が事業所をのぞいてくれたり遊びに来られることもある。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○ 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) その時々に応じて、テーブルや席を移動し、お互いに気持ちよく過ごせるよう、常時見守りと気配りを欠かさないように、心がけ不安や支障をきたさないように適切な支援に努めている。	
22		○ 関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退去後も家族と一緒に遊びに来られたり、行事の呼びかけに参加等あり、必要な情報も提供できるように心がけている。	
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 言葉として出ている事ばかりでなく、表情や態度等からも本人の思いを受け止め、一人ひとりに寄り添いながら、把握に努めている。 (外部評価) 職員は、日々の生活の中の会話を大切にされて、ご本人やご家族の思いや意向の把握に努めておられる。利用者には、方言で話しかけることが、利用者のリラックスにつながり、思いを引き出せるようなこともある。もちつき等、利用者にとって馴染みの活動を通じて、利用者のこれまでの暮らしの様子や得意なこと等を知るようなこともある。	意思の表出がし難い利用者の思いや意向を引き出すような取り組みに力を入れて取り組み、利用者等から得た情報を日々のケアにつなげて、さらに、ご本人らしい暮らしを支援していけるよう工夫を重ねて行かれてほしい。
24		○ これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 本人や家族様から今までの、生活の様子や全体像を把握している。今まで生活してこられた馴染みの暮らし方を重視し職員全員で支援に努めている。	
25		○ 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 一人ひとりの生活リズムを大切にしながら、その人の持っている力を引き出せるように。又、その日の状態の観察により、全体像を把握するように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○ チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	
			本人や家族と話し合う時間をもち要望や意見を伺う。また、利用者を取り巻くスタッフ全員によるミーティングを行なう。本人や家族の意向や職員の気持ちを採り入れて、介護計画作成できるよう努めている。	
27		○ 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(外部評価)	
			日々の介護記録の中から「日々の状態、支援経過」「家族への連絡、思い」について抜き出して「アセスメント要約」として1か月ごとにまとめ、みて分かりやすいようにされている。アセスメント要約は、モニタリングにもなっており、毎月の職員ミーティング時に話し合い、3ヶ月ごとに計画を見直しておられる。	
28		○ 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	
			本人や家族様の要望に応じて、外出、外泊ができるようにしている。また、隣接しているグループホームや小規模多機能ゆいの村との交流も再々あり、楽しまれている。	
29		○ 地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	
			お大師参り・地方祭り・敬老会行事等、体調に合わせて外出し、馴染みの方々との出会いも多く、行きつけの理美容院へも家族の協力や、美容師の好意によるお迎えにより希望がかなえられている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○ かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人や家族が希望する決められたかかりつけ医の受診ができている。また保健師同行の専門医の往診もあり、医師とご家族、職員が話し合える機会もあり適切な医療が受けられるように支援している。	
			(外部評価) 利用者個々の以前からのかかりつけ医に入居後も診てもらえるよう支援されている。受診は、ご家族が付き添うようになっているが、ご家族の都合に応じて職員が同行されている。協力医療機関や他の病院も往診に来てくれるようになっている。利用者の状態について、気になるような時には、併設事業所の看護師資格を有する職員が、相談に乗ってくれるようになっている。	
31		○ 看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価) かかりつけ医の看護師との連携や隣接している村の看護師に日常の相談、協力の連携は取れており、健康管理や適切な受診が出来るような支援を行なっている。	
32		○ 入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 利用者の状態確認を家族医師より教えて頂き、利用者や家族の意向に添って、情報交換しながら、対応可能な段階で、早期退院できるように、又入院時には、本人の支援方法に関する情報を提供している。	
33	12	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 契約時本人や家族の意向は伺っている。状態に応じ家族さんの意向を踏まえながら医師、本人、家族、職員と話し合い、できるだけ早い段階で事業所としてできる事を説明し意向に添った支援につなげている。	
			(外部評価) 「最期まで事業所で暮らしたい」というような利用者ご家族からの希望もあり、管理者は、利用者の状態変化時には、主治医やご家族等とも話し合い、方針を決め支援に取り組んでおられる。さらに、今後のことや病状のこと認知症の状態のこと等について、利用者やご家族とゆっくりお話するような機会を時々作っていかれてはどうか。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○ 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 救急法やAEDの使い方の講習を受け知識は得ている。おおむね、年1回～2回は講習を受け初期対応への備えはできている。	
35	13	○ 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 近隣のホームと合同で避難訓練を行ったり、消防関係者や地域住民との協力を得、訓練を行ったり、訓練を重ねることにより、問題も見え、改善へとつながっている。 (外部評価) 3月には、地域の方の参加もいただき、夜間想定で併設3事業所合同の避難訓練を実施された。地域代表の方も緊急連絡網に登録されており、訓練当日は、連絡網で、連絡を受けてご自宅から事業所へ駆け付け、避難の協力をいただいた。事業所では訓練を実施して「声の出し方」「避難後の対応」等について、課題を明確にされていた。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○ 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 日々のかかわりの中で、一人ひとりの誇りやプライバシーを大切に損ねることなく、日々を楽しく豊かに過ごしていただけるように支援している。 (外部評価) 利用者への支援時、職員は利用者に「～していただけますか」と投げかけて、強制しないように心がけておられた。大きな声を出すような利用者には、周囲にも気を配り、職員がそっと側に寄ってご本人の耳元で小さく声をかけておられる様子がみられた。利用者同士の関係性等も考慮して、テーブルの上には、大きなあじさいの花を生ける等、プライバシーを守ったりお互いの目線を逸らすような配慮がなされていた。	
37		○ 利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 一人ひとりが思いや、希望を表すことができる様な言葉かけをし、自己決定できる場面を多く作っています。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどのよ うに過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一人ひとり、その日の体調を配慮しながらその人のペースで 過ごせるよう、また希望を尋ねたり、相談しながら出来る限り 満足していただけるように支援している。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう に支援している	(自己評価) 朝の着替えは、本人の意志で決めており、見守り、支援が必要 な時は、手伝っている。行きつけの理美容院へは、家族と 一緒に行っている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に 準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 下ごしらえや、盛り付け等出きることをお願いし、歯の状態や 好み等配慮しながら個々に楽しめるようにしている。又、片 付けにおいても声かけをしながらお願いしている。 (外部評価) 併設の系列グループホームと交替で献立を作っておられ、 火曜と金曜に食材が届くようになっている。いぎす豆腐等の 郷土料理もよく作っておられたり、又、利用者が目でも楽しめ るように、配膳やいろ採りにも気を配っておられる。調査訪問 時の昼食のそうめん汁は、具のくずしが飾り切りされていて、 利用者は「きれいに切ってるね」と、話しながら食事をされて いた。利用者は、野菜を切ったりお膳を拭いたりして調理に 参加されている。利用者の状態に合わせて、食材を小さくし たり、ミキサーにかけたり、お粥やおにぎりにして個々が食べ やすいようにして支援されていた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている	(自己評価) 一人ひとりの量や好みを考慮しながら、キザミおかずや流動 食にしたり、健康状態や歯の状態、飲み込み力等に応じて いる。水分補給もこまめに取り組んでいる。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている	(自己評価) 食後の声かけをして、自分でできる方は見守り、支援の必要 な方にはその方に応じた歯磨きの手伝いをしています。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○ 排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			排泄を記録し、排泄のパターンを把握し、その人に応じたトイレ誘導を行なっている。出来る限りトイレで排泄ができるように支援している。	
			(外部評価)	
			個々の排泄状態を記録して、排泄パターンの把握に努め、誘導をしてトイレで排泄できるよう支援されている。	
44		○ 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	
			排泄を記録し、便秘に早く気づき対応する。水分を充分にとり、繊維質の多い食材を提供し予防に取り組んでいる。体調に合わせた運動の声かけを行なっている。	
45	17	○ 入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			利用者の希望に出来るだけあわせ、体調を見ながら、安全確保しながら楽しんで入浴できるよう支援している。一人づつの入浴なので、職員にとっても利用者とは1対1で話が出来るといっていい機会である。	
			(外部評価)	
			毎日お風呂を沸かして、利用者の希望を聞きながら入浴をすすめておられる。ご本人の希望で毎日入浴する利用者もいる。浴槽は深めであるが、滑り止めマットを敷いて、手すりを使用し、職員も支えて安全に浴槽で温まれるように支援されている。	
46		○ 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	
			日中はフロアで自由な時間を持ちながらその人の体力、体調に合わせて声かけで休んでいただいている。夜間の状態も記録やミーティング時において確認できその日の体調にあわせて支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○ 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 利用者がどんな薬を飲んでいるか、いつでも確認できるように管理し、服薬支援をしている。	
48		○ 役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 歌の得意な方は歌を歌い、食事の下ごしらえや洗濯物干し、たたみ又、草取りや野菜作り等それぞれ得意な分野で力を発揮しています。	
49	18	○ 日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 天気の良い日は、ゆい周辺を散歩したり近所のお店に買い物に行ったりしてる。又、花見や藤祭りなどに出かけ、季節のうつろいを感じていただけるよう支援している。 (外部評価) 日常的に事業所周辺を散歩されたり、車で出かけてお寺や神社をお参りすることもある。地域のお祭りや島内の花の名所を訪ねて季節を楽しまれている。今後、併設事業所と一緒にそうめん流しを楽しむ計画をされていた。	職員は「外出してもすぐに帰りたい」と言われる利用者があることが気になっておられる。このような職員の気付きをきっかけにして、外出支援について配慮や工夫できることはないか話し合ってみてはどうだろうか。又、職員は「利用者全員で出かけてみたい」とも話しておられ、ご家族や地域の方等、協力者を増やして利用者の外出の機会作りにつなげていかれてほしい。
50		○ お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 自分でお金を持っている方もおられるが、管理が充分でない為、事務所で預かりしている方もおられ、必要に応じて一緒に買い物支援している。	
51		○ 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 本人の希望があれば、いつでも電話できるよう支援し、家族の方も気持ちを良く対応してくださっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節の草花を飾ったり、昔懐かしい家具やミシン人形などを置いたり、心地よい音楽をかけたりとゆったりと過ごせるよう心がけている。又、温度調節をこまめにし、快適に過ごせるように気をつけている。	
			(外部評価) 事業所全体に木のぬくもりが感じられ、天井は梁が見え高くてゆったりとした造りになっている。昼食後、畳のスペースで横になり休む方や、職員と一緒に手拍子をしなが歌を歌っているような利用者の様子もうかがえた。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 長いすやソファを自由に配置し、独りでゆったりとすごしたり、数人で話しながら学んだり自分の時間を楽しんでいたできるようにしている。	
			(外部評価) 居室は板の間であるが、畳を敷いたり、植木を持ち込んだりと個性豊かである。本人の動きやすいように、配置している。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 居室は板の間であるが、畳を敷いたり、植木を持ち込んだりと個性豊かである。本人の動きやすいように、配置している。	
			(外部評価) 居室の入口の扉を開け、窓も開けて風通しを良くしているため、居室の中が見えないように、のれんをかけておられる。窓は掃き出しの大きな窓で外にベランダが作られてあり、お天気の良い日には、個々に布団を干しておられる。テレビやたんすを持ち込まれている方もある。居室の窓から強い日差しが入るところには、遮光ネットを使用しておられた。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) トイレや風呂などよくわかるように、絵や文字を書き戸に貼っている。手すりも必要に応じ利用し、自立した生活が送れるよう支援している。	
			(外部評価)	